



御成門だより

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」
〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-ky.ed.jp

バタフライ・エフェクト

校長 佐藤 太

色鮮やかな紫陽花が映える6月を迎えました。学校では、来週行われる運動会に向けて、毎日、朝練習の時間から生徒たちの元気な声が響き渡っています。保護者・地域の皆様には、運動会当日、是非、本校に足を運んでいただき、生徒たちの勇姿に温かな声援を送っていただければ幸いです。

さて、皆さんは、「バタフライ・エフェクト」という言葉を知っていますか。バタフライは蝶々、エフェクトは効果ですから、直訳すると「蝶々の羽ばたく効果」となります。この言葉を最初に使った人物は、エドワード・ローレンツという気象学者です。

気象学者のローレンツは、「気象学の世界では、地球上のある場所で、一匹の蝶々の羽ばたきが、はるか遠く地球上の裏側の場所で、竜巻や台風など大きな現象を巻き起こすことにつながる」という講演を世界各地で行いました。その講演のタイトルは、『ブラジルの蝶の羽ばたきがテキサスでトルネードを引き起こす』です。私は、ブラジルにいる一匹の蝶の羽ばたいた程度の小さな力や運動が、巡り巡って或いは影響しあって、テキサスに台風をもたらすような大きな気象現象を巻き起こすことを初めて知った時、とても驚きました。はじめは小さな力であったものが、やがて大きな力やうねりになって、世界を動かすことにつながるからです。

私が、初めて「バタフライ・エフェクト」という言葉を知ったのは、10年前に放映されたテレビドラマ「JIN - 仁」（原作は漫画家の村上もとか氏で、大学病院に勤める脳外科医が、薬も近代医学もない幕末期にタイムスリップしてしまい、医療を通して生きる意味を問うドラマです。）ですが、それ以来、私の心の片隅に残っている言葉の一つです。

今週月曜日の朝は、生徒で運営する生徒朝礼で、各委員からの発表がありました。

- 生徒会本部役員からは、全校生徒への「ありがとう運動」の提案でした。学校生活で仲間の素晴らしいと思った行動や励まされ勇気づけられたことを桜の花びらの付箋紙に書き、玄関に張り出した模造紙の木に張っていき、校内を感謝の気持ちで一杯にしたいという思いを語ってくれました。
- 給食委員会からは、「給食リクエストメニューBOX」を新たに設置するお知らせでした。生徒から作ってほしい給食の献立を投函できるうれしい新たな取り組みです。
- 放送委員会からは、給食で流すリクエスト曲が、リクエストBOXに入りきらない程の応募への感謝と期待の言葉とともに、不足のリクエスト曲CDをお借りしたいお願いがありました。
- 運動会実行委員長からは、今年度のスローガン「Let's make Revolution、～刻め僕らの伝説～」を伝え、運動会に向かって全校生徒を引っばる意気込みと団結を熱く呼びかけてくれました。

私は、生徒朝礼の光景を目にして、御成門中生の姿勢に、頼もしさと同時にうれしさが込み上げてきました。そこには、生徒たちの手で、御成門中学校をどうしたら良いもの、充実した楽しいものに創り上げていけるかを考えて提案し、仲間と呼びかけ、具体的な行動に移している姿がありました。この生徒朝礼は「バタフライ・エフェクト」のような力をもっていると感じています。

当たり前のことですが、学校生活を意義あるものにするのは、先生方でも保護者の方々でもなく、御成門中学に通う生徒自身です。だからこそ、生徒一人一人の皆さんが思いや行動が大事です。どのような小さなこと、たとえ自信のないことでも、それは、「バタフライ・エフェクト」から始まり、仲間と仲間が響き合いながら協力し合いながら、御成門中の大きな力や着実な歩みにつながるはずです。是非、皆さん一人一人がその思いをもって、自分たちの手で充実した学校生活を創っていくことを切望しています。

さあ、生徒の皆さん、今年の運動会も全力を尽くして、御成門中の新たな伝説を刻んでください。